



2021年2月12日

特種東海製紙株式会社

ウェットモールドに関する合弁会社設立について

特種東海製紙株式会社（代表取締役社長：松田 裕司、本社：東京都中央区、以下「特種東海製紙」）、上六印刷株式会社（代表取締役社長：三島 基司、本社：奈良県生駒市、以下「上六印刷」）及び株式会社名古屋モールド（代表取締役社長：野倉 淳嗣、本社：愛知県丹羽郡扶桑町、以下「名古屋モールド」）は、合弁会社「株式会社モルディア（以下「MOLDEA」）」を協働で設立し、色のバリエーションや意匠性、機能性等に特徴を持たせたパルプモールドの製造販売を4月1日より開始することといたしました。2月24日から東京ビッグサイトで予定されているTOKYO PACK 2021の特種東海製紙グループのブースで、サンプル及び、詳細について展示する予定です。

1. 設立の背景

上六印刷は、印刷からアッセンブリまでの一貫工程に加えて、UVオフセット印刷や、立体物への加飾印刷が可能なシルク印刷、ホットスタンプ、インクジェット等を用いた多彩な加飾技術を持つ「高級美粧パッケージのスペシャリスト」です。独自の表現技術と質の高い品質管理で化粧品をはじめとした魅力的なパッケージを提供しております。

名古屋モールドは、紙の風合いを生かしたパルプモールドによる特殊デザインパッケージや紙の造形品、工業用の緩衝材などを提供しております。自社にて3D CADによる設計から金型製作までを一貫製造できる技術を保有しております。

これら両社の強みに特種東海製紙が有する「きれい」へのこだわり、特殊原料のノウハウ、様々な機能を付与した特殊紙の開発技術を加えることにより、各社が単独では成しえなかった新たな価値を付与したモールドを、素材から最終製品まで幅広く提供することが可能となります。

なお、社名の「MOLDEA」は、「MOLD」と「IDEA」という2つの言葉に由来しており、高品質なパッケージの成型を可能にした最新のMOLD技術を活用し、様々なアイデアを形にしていくという想いを込めました。また、「MOLD」に加えた「E」と「A」は、それぞれ「Eco l o g y」と「A r t」の頭文字として、プラスチックの代わりになるMOLD製品によって環境負荷を減らすとともに、美しい表面感や豊かな色彩により、アーティスティックなMOLDの未来を拓くというビジョンを表しました。

2. 合弁会社の概要

(1) 商号	株式会社モルディア	(通称：MOLDEA)
(2) 設立予定日	2021年4月1日	
(3) 本店所在地	岐阜県岐阜市上川手 814 番地	
(4) 代表取締役社長	秋山 宏介	
(5) 資本金	50,000 千円	
(6) 株主	特種東海製紙	53.8%
	上六印刷	41.2%

名古屋モールド 5.0%

(7) 決算期 3月

(8) 事業内容 パルプモールドの製造販売

3. 取扱製品の特長

(1) ゼロテーパーを実現

従来のパルプモールドでは、成型を補助する「抜きテーパー」が不可欠で、きれいな仕上がりを求めると10度以上のテーパーが必要でした。MOLDEAの「シルキーモールド」は、テーパーゼロでの成型が可能(高さ制限あり)。これまで難しかった形状も成型できるようになりました。また、身蓋箱の嵌合が向上し、身蓋の隙間を小さくできるため、貼箱の代替としても使用できます。



(2) シルクのような滑らかな表面

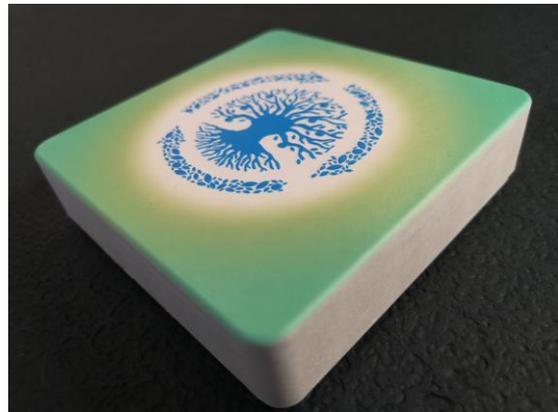
成型後、湿った状態でのプレスドライ製法により、表面の平滑性が格段に向上しました。従来のパルプモールドに比べて紙粉の発生量も削減できます。また、微細エンボス加工が可能となり、従来のパルプモールドでは実現できなかった、さまざまな表情が持たせられます。

(3) サイドカット加工

側面から刃を当ててカットすることにより、従来にないきれいな切り口を実現。トムソンカットで生じるフランジも発生しません。丸や四角だけではなく、多角形のカットも可能になりました。

(4) 加飾印刷

様々な加飾技術により、モールドに新たな意匠性を付与する事が可能です。



(5) 原料の提案

様々な原料を利用する事により、ニーズに合わせた色、機能のご提案を致します。



本件に関するお問い合わせ

特種東海製紙株式会社	執行役員パッケージ企画本部長 秋山宏介 (TEL 03-6810-0441)
上六印刷株式会社	執行役員東京営業所営業1部部長 伊藤康裕 (TEL03-3436-2360)
	執行役員大阪営業所営業2部部長 尾崎順司 (TEL06-4792-7216)
株式会社名古屋モールド	代表取締役 野倉淳嗣 (TEL0587-93-2771)

以上